

## ラオスの歴史や 文化学んだ研修

◇私は、今年の3月に国際協力機構（JICA）ラオス研修に参加しました。今回の研修で印象に残っていることは二つあります。一つ目は、小・中学校の訪問です。私の学校で行われるウォーカソンという行事で集まった、ダル

ニ奨学金で学校に通っている子どもを見ました。何事もなく学校に行けることに改めて感謝する機会を持ちました。驚いたことは学校に水道がないことです。毎日井戸を使っている、水道がないことを困っていました。

◇勉強になったことは、ラオスの儀式のパーシーに参加したこと。そこで、ラオスの歴史や文化、習慣などを知ることができました。生徒の皆さんとさまざまな交流活動を行い、スイカ割りや折り紙をして日本の文化を共有しました。とても有意義な時間を過ごすことができました。印象に残った二つ目は、朝に托鉢たくはつを見たことです。托鉢たくはつは、修行僧が鉢を持って町を

歩き、他人の家の前に立つてお金やお米を受け回ること。実際に自分の目で見ることで、とても良い経験ができました。

◇今回の研修ではたくさんのお金を学ぶことができた。ラオスの村では、子どもを乗せるなど多い時には4人乗りをしているバイクもあれば、ゴミが所々に落ちていて、「開発途上国」とはこのような国のことを言うのだと感じました。これからもこのような貴重な体験ができることに感謝し、世界の現状を理解した上で、今後は貧困で苦しんでいる人々を助ける活動に参加していきたいです。

（山梨英和中3年・中川樹里 亜）